



一寸木家のみなさん（上延沢）

右から、
一寸木克実さん（32）
結心ちゃん（9）、晴心ちゃん（7）
愛心ちゃん（3）、桂子さん（32）

開成町は、転出者より転入者が多い
状況（転入超過）にあります。特に、
30歳代を中心とする子育て世代の転入
超過が特徴となっています。

結婚を機に開成町に引っ越しされた
一寸木さんに、開成町での子育てにつ
いてお話を伺いました。

通勤のことを考えて開成町を選ばれ
たという一寸木さん。開成町の便利さ
がとても気に入っているそうです。

「通勤の利便性を考え、開成町に
住むことにしました。町全体が平坦な
ので、日常生活ではどこに行くにも
徒歩や自転車で行けるところが気に入
っています。幼稚園もバスでの送迎が
あり、小学校も近くでいいですね。」

開成町の子育て環境の良さも気に入
っているそうです。

「開成町は、周囲の環境も良く、子
育てしやすい町だと思います。小さな
子どもが安心して遊べる場所がもっと
欲しいと思うことがあります。周りの
人も良い方ばかりで、地域の中で子
育てできることが、開成町の子育て環
境の魅力だと思います。」

開成町は、転出者より転入者が多い
状況（転入超過）にあります。特に、
30歳代を中心とする子育て世代の転入
超過が特徴となっています。

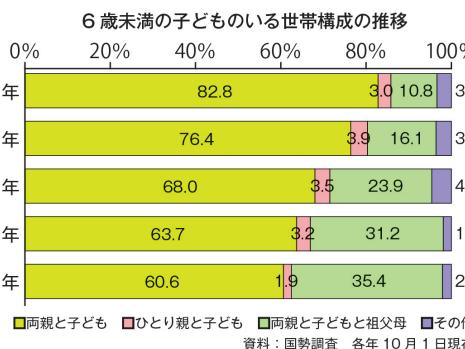
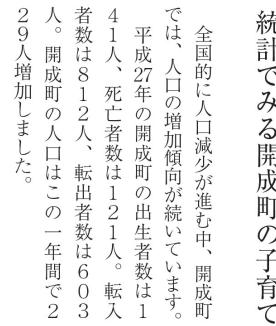
結婚を機に開成町に引っ越しされた
一寸木さんに、開成町での子育てにつ
いてお話を伺いました。

通勤のことを考えて開成町を選ばれ
たという一寸木さん。開成町の便利さ
がとても気に入っているそうです。

「通勤の利便性を考え、開成町に
住むことにしました。町全体が平坦な
ので、日常生活ではどこに行くにも
徒歩や自転車で行けるところが気に入
っています。幼稚園もバスでの送迎が
あり、小学校も近くでいいですね。」

開成町の子育て環境の良さも気に入
っているそうです。

「開成町は、周囲の環境も良く、子
育てしやすい町だと思います。小さな
子どもが安心して遊べる場所がもっと
欲しいと思うことがあります。周りの
人も良い方ばかりで、地域の中で子
育てできることが、開成町の子育て環
境の魅力だと思います。」



資料：国勢調査 各年10月1日現在

開成町の出生数

平成 22年	155
平成 23年	163
平成 24年	137
平成 25年	156
平成 26年	131
平成 27年	141

出典：神奈川県衛生統計年報（平成27年は届出数）



特集 開成町の子育て

みんなで子育て

未来を担う子どもたちは、家族にとっても、地域にとってもかけがえのない宝ものであります。子どもたちが元気に成長する姿はまちの活力につながっています。

子どもたちの健やかな育ちとその幸せは、私たちが守るべきものです。

地域が一つになり支え合つて、いける、
よりよい環境を構築するために活動す
るボランティアの方や、子育てに役立
施設や活動の情報等を紹介します。

「子育ては親育て」とも言われます
が、子育てはまちづくりです。町が、地
域が子どもたちに今できることは何か
を考え、よりよい子育てができるよう
みんなで取り組んでいきましょう。

子どもが誕生することで、新しい家
族の物語が始まります。それまで育て
られてきた人が、育てる側になります。
わが子が生まれたときに初めて赤ちゃ
んに触れたという人が少くない時代
となりました。

核家族化や少子化の進行、社会環境
の変化等から、子育てをめぐる環境は
大きく変っています。

みなさんは、「子育てにやさしいま
ち」と聞いてどのようなまちを想像す
るでしょうか。

「子に過ぎたる至なし」ということ
わざがあります。子どもたちが元気に
成長する姿は町の宝のことであり、活力
であります。開成町では平成22年か
らの5年間、平均して毎年約147人
の子どもたちが誕生しています。この
子どもたちが健やかに育つよう、町は多
くの事業を通して子育て支援をしてい
ます。